

OFFICIAL MATCH DAY PROGRAM

発行: 関西学生サッカー連盟



2010年11月28日発行

優勝 阪南大学 (2年ぶり5回目)



2010年度 第88回 関西学生サッカーリーグ 順位表

順位	大学名	試合数	勝	敗	分	得点	失点	得失点差	平均得点	平均失点	平均得失点差	順位	大学名	試合数	勝	敗	分	得点	失点	得失点差	平均得点	平均失点	平均得失点差
1	阪南大学	14	10	3	1	32	15	17	2.29	1.14	1.15	15	同志社大学	14	7	6	1	24	20	4	1.71	1.43	0.28
2	同志社大学	14	7	6	1	24	20	4	1.71	1.43	0.28	16	京都大学	14	6	7	1	21	25	-4	1.50	1.93	-0.43
3	同志社大学	14	7	6	1	24	20	4	1.71	1.43	0.28	17	京都大学	14	6	7	1	21	25	-4	1.50	1.93	-0.43
4	同志社大学	14	7	6	1	24	20	4	1.71	1.43	0.28	18	同志社大学	14	6	7	1	21	25	-4	1.50	1.93	-0.43
5	同志社大学	14	7	6	1	24	20	4	1.71	1.43	0.28	19	同志社大学	14	6	7	1	21	25	-4	1.50	1.93	-0.43
6	同志社大学	14	7	6	1	24	20	4	1.71	1.43	0.28	20	同志社大学	14	6	7	1	21	25	-4	1.50	1.93	-0.43
7	同志社大学	14	7	6	1	24	20	4	1.71	1.43	0.28	21	同志社大学	14	6	7	1	21	25	-4	1.50	1.93	-0.43
8	同志社大学	14	7	6	1	24	20	4	1.71	1.43	0.28	22	同志社大学	14	6	7	1	21	25	-4	1.50	1.93	-0.43
9	同志社大学	14	7	6	1	24	20	4	1.71	1.43	0.28	23	同志社大学	14	6	7	1	21	25	-4	1.50	1.93	-0.43
10	同志社大学	14	7	6	1	24	20	4	1.71	1.43	0.28	24	同志社大学	14	6	7	1	21	25	-4	1.50	1.93	-0.43
11	同志社大学	14	7	6	1	24	20	4	1.71	1.43	0.28	25	同志社大学	14	6	7	1	21	25	-4	1.50	1.93	-0.43
12	同志社大学	14	7	6	1	24	20	4	1.71	1.43	0.28	26	同志社大学	14	6	7	1	21	25	-4	1.50	1.93	-0.43
13	同志社大学	14	7	6	1	24	20	4	1.71	1.43	0.28	27	同志社大学	14	6	7	1	21	25	-4	1.50	1.93	-0.43
14	同志社大学	14	7	6	1	24	20	4	1.71	1.43	0.28	28	同志社大学	14	6	7	1	21	25	-4	1.50	1.93	-0.43

2010年度 第88回 関西学生サッカーリーグ
優勝 阪南大学 準優勝 関西大学 第3位 立命館大学



関西学院大学 VS びわこ成蹊スポーツ大学

前節の敗戦でインカレ出場権を逃した関学大と、勝利を収め、なんとしても自力で1部残留を決めたいびわこ大との対戦。

「絶対にかたなあかん試合で、背後をつくシンプルなプレーを心がけた」とびわこ大の望月聡監督。ボールポゼッションで上回る関学大の攻撃をDF陣が体を張ってしっかりと守り、そこから一気に攻撃へとつなげる。そして、試合が動いたのは前半35分。MF⑫吉澤春風からのボールを受けたFW⑩松田力が、ゴールまで少し距離があったものの、迷わずシュートを選択して一振り。関学大ゴールネットを揺らした。びわこ大がリードを奪ったまま前半を折り返すと、後半2分。オウンゴールでびわこ大がさらにリードを広げた。4年生の引退試合であり、関学大もこのままでは終われない。果敢にゴールを目指し、後半、びわこ大の倍以上のシュートを放つも、ゴールが遠かった。

2-0でびわこ大が勝利し、1部・2部の入替戦を回避。無事、1部残留を決めた。今季リーグを終え、望月監督は「来年は下位に甘んじることなく上位を狙いたい」と来季への意気込みを覗かせた。一方、関学大のMF⑩渡辺毅仁主将は「結果が出なかったのは残念だった」と肩を落とすも、「ベンチから4年生の声も聞こえて楽しく試合ができた。関学に入ってよかったと思った」と引退試合を振り返った。

(文：UNN関西学生報道連盟 寺島琴美)

関学大 0-2 びわこ大

■11月27日(土) 11:30 KICK OFF

@大阪長居第2陸上競技場

◇出場選手◇

関学大

22 横江 諒
42 浦島 彰洋(→5 桑野 裕士)
27 井林 章
39 岡崎 太一
15 高松 功一
10 渡辺 毅仁
13 高橋 宏次郎
7 梶川 諒太
34 卯田 堅悟(→14 松本 圭介)
9 村井 匠(→19 山内 一樹)
11 桑原 理介

びわこ大

37 柴田 大地
30 松田 陸
15 但馬 優斗
10 内野 貴志
14 鳥濱 誠司
12 吉澤 春風(→19 藤本 義人)
36 河村 大毅(→16 濱名 祐介)
23 湯田 逸友
11 浅津 知大
9 土井 俊典(→8 安本 真哉)
31 松田 力

◆得点(アシスト)◆

びわこ大 35分 31 松田 力 (12 吉澤 春風)

びわこ大 47分 オウンゴール

桃山学院大学 VS 関西大学

桃山大 4-1 関西大

■11月27日(土) 14:00 KICK OFF

@大阪長居第2陸上競技場

◇出場選手◇

桃山大

21 園 謙太郎
5 古川 将大
4 宮内 豪
37 谷口 功
2 中嶋 亮
18 須ノ又 諭
15 面家 康生
6 岡田 翔太郎
38 道上 隼人
36 中東 優治(→16 加藤 潤)
7 宮澤 龍二(→11 齋藤 達也)

関西大

16 金谷 和幸
2 田中 雄大
15 寺岡 真弘
21 小椋 剛
3 櫻内 渚
33 海田 佳祐(→18 安藤 大介)
6 田中 裕人
20 西山 洋平
8 藤澤 典隆
26 奥田 勇太(→36 保手濱 直樹)
7 岡崎 建哉(→35 瀬里 康和)

◆得点(アシスト)◆

関西大 25分 26 奥田 勇太 (33 海田 佳祐)

桃山大 45分 2 中嶋 亮 (7 宮澤 龍二)

桃山大 52分 7 宮澤 龍二

桃山大 76分 11 齋藤 達也

桃山大 90+2分 38 道上 隼人 (2 中嶋 亮)

インカレ出場権獲得への望みをつなげるため、勝利が絶対条件の桃山大。対する関西大は前節でインカレ出場を決め、勝利でリーグを終えてインカレに弾みをつけたいところ。

前半25分に関西大がFW②奥田勇太のゴールで先制。1点のリードを奪い、徐々に関西大が試合のリズムを作り出す。だが、前半終了間際に、CKから桃山大のDF2中嶋亮がヘディングで押し込み、同点に。1-1のまま前半を折り返した。

後半に入ると、試合は一気に桃山大のペースに。FW⑦宮澤龍二、FW⑩齋藤達也がそれぞれゴールを挙げ、得点を重ねる。1人退場者を出し、10人になった桃山大だったが、後半ロスタイムにMF③道上隼人がさらに追加点を挙げ、勝利を決定づけた。

関西大キャプテン・MF⑧藤澤典隆は「相手のペースにはまっていた。やられました」と試合を振り返る。「後味の悪いリーグになってしまったけど、この負けをどうインカレに繋げるかが大事」と切り替え、インカレへと臨む。「何より勝てたことがよかった」。桃山大キャプテン・MF⑥岡田翔太郎は笑顔を浮かべた。他チームの結果により、インカレに出場することはできなかった桃山大。だが、「強いチームにはなれなかったかもしれないけど、いいチームにはなれた」と今年のチームを振り返り、やり切った表情を見せた。

(文：UNN関西学生報道連盟 寺島琴美)

甲南大学VS関西国際大学

2部降格が決まっている甲南大と関国大。どちらも勝って有終の美を飾りたいところ。序盤から甲南大は2トップの一角、FW③辻本裕也が強引にドリブルでゴール前へ突破を図る。だが、この日は両チームともに、守備陣が集中していた。関国大・MF⑩原口大祐はパスを出すどころか下がるしかなく、FW⑪呉島竜希欠いている分、なかなか裏へ出すことが出来なかった。CBからFWへコンバートされたFW③小西和樹が前線で汗をかくが、終始、甲南大の高いDFラインに苦しみシュート数わずか5。甲南大は後半運動量の落ちた時間帯もあったが、ラストは怒涛の攻めで攻勢をかけた。だが、この1年、前線へパスを送り続けた甲南大のFW⑦原宏樹のパスもゴールまでは届かず。最後まで互いに決定機を作り出せずスコアレスで1年の戦いを終えた。

これまで失点に泣いてきた両者だけあって、最後は無失点で終え勝ち点1を分け合ったことは1部への置き土産となっただろう。「最後は甲南らしいゲームだった」と潮田晴司監督。春に絶好調だった関西大を下し勝利した試合は印象的だった。関国大の魅せるパスサッカーは、観客の記憶に残ったはず。また来年2部の厳しい舞台で揉まれて戻って来ることを期待したい。

(文：フリーライター 久住真穂)

甲南大 0-0 関国大

■11月27日(土) 11:30 KICK OFF

@高槻市立萩谷総合公園サッカー場

◇出場選手◇

甲南大

41 水口 弘史
37 下田 尚平
48 松本 充史
27 上月 拓也
5 原田 健太
9 田中 大滋(→6 片岡 大樹)
10 立川 雄大
18 佐藤 正啓
30 原田 直信
7 原 宏樹
34 辻本 裕也(→8 福原 博文)

関国大

41 改森 亮太
5 向 意樹
4 増本 賢一
2 岩井 将太
16 川北 竜司
6 梶本 有三(→36 高橋 康平)
30 表 隆太郎
10 原口 大佑
35 友利 貴一(→19 比嘉 孝広)
3 小西 和樹(→39 服部 準平)
14 蔵田 岬平

◆得点(アシスト)◆

大阪産業大学VS大阪学院大学

大産大 0-2 大院大

■11月27日(土) 14:00 KICK OFF

@高槻市立萩谷総合公園サッカー場

◇出場選手◇

大産大

1 朴 寛明
32 伊東 大志
34 門 大貴
6 清水 良平
28 高村 瑛仁
24 江口 直生
14 大下 智也(→26 塩川 慎也)
10 橋 章斗
7 宮本 健二
11 西原 周平(→12 川西 誠)
9 鰐田 有馬(→17 寺東 宏典)

大院大

21 太田 岳志
20 日高 大地
113 長友 啓悟
6 高橋 周也
67 高橋 祐太
63 柿木 亮介
64 吉田 実成都(→8 平岡 大毅)
5 尾泉 大樹
102 大藪 晋平(→117 倉本 啓悟)
48 大槻 周平(→73 大國 仁史)
10 四ヶ浦 寛康

◆得点(アシスト)◆

大院大 3分 10 四ヶ浦 寛康 (67 高橋 祐太)
大院大 6分 63 柿木 亮介 (48 大槻 周平)

長居第二会場の第一試合でびわこ大が勝利したため、試合前に入替戦へ進むことが決まった大院大。対する大産大も入替戦が決まっており、両者勝って勢いをつけた。

先制点は前半3分。「警戒していた」(大産大・櫛引実監督)という大院大MF⑤尾泉大樹が左サイドのスペースへ出し、MF⑦高橋祐太のクロスに最後はFW⑩四ヶ浦康寛。鮮やかなダイビングヘッドでゴールに突き刺した。さらに、3分後にはMF③柿木亮介がドリブルでペナルティエリア前から強引に放ったシュートは、GKの手をすり抜けゴールへと吸い込まれた。集中していない立ち上がりで2失点した大産大だが、徐々に守備を立て直し、攻撃ではFW⑨鰐田有馬が見事な反転シュートで魅せるが、大院大がダイレクトでパスを運び、試合を支配。

後半、大産大はFW⑩川西誠を投入し、前線でリズムを変え怒涛の攻撃で圧倒するが、GK②太田岳志が好セーブを連発。勢いを止められた大産大は、ゴールをこじあけることができず。「完璧なのを2本も止められた」と櫛引監督も悔しい表情を浮かべた。大院大はFW④大槻周平が負傷退場するなど苦しいながらも序盤の2点を守りきり、入替戦へ弾みをつけた。

(文：フリーライター 久住真穂)

近畿大学 VS 立命館大学

勝てばインカレ出場の切符を手にすることができる立命館大が、近畿大を2-0で下して宿願を達成した。立命館大はスタートから両サイドのMF 25岡本知也、17雨森理亮をFW的なポジションに参入させる超攻撃的なシフトで勝利への意欲を見せた。その意欲は早々と実った。2分、左サイドを駆け上がった雨森からパスを受けたFW 11坂本一輝が簡単に合わせた。坂本はこれが20点目、得点王を手中にするメモリアルゴールでもあった。この早い段階での先制点は「いい感じでゲームを進めていても、途中でバラけるというか、意思統一が出来なくなる」と米田監督が嘆くように、立命館大に一休み状態が出た。それでも攻守に不安はなく、近畿大に付け込むスキを与えなかった。

立命館大の追加点は後半32分。DF 5前野貴徳のロングシュートは惜しくもバーに阻まれたが詰めていたFW 18伊藤了が巧く押し込んだ。敗れた近畿大だが、1部復帰の今年、見違えるような活躍を見せたのは素晴らしかった。常に順位争いの上位につけるダークホース的存在で、あわよくば、の強靱な意志は首位戦線を白熱したものにした功績は大きい。来年度のさらなる飛躍は十分期待できる。

(文：関西学連)

近畿大 0-2 立命大

■11月28日(日) 11:30 KICK OFF

@大阪長居第2陸上競技場

◇出場選手◇

近畿大

1 大西 勝悟
4 福田 俊太
5 松原 優吉
33 水谷 尚貴
20 田中 啓太(→6 松元 大将)
10 枝本 雄一郎
2 近石 哲平
8 池 亮磨(→38 田村 研人)
13 藤本 憲明(→9 前田 竜太)
25 長元 伸吾
7 宮本 宗弥

立命大

21 迫田 洋一
5 前野 貴徳
4 藤原 広太郎
12 小関 教平
6 篠原 翔
17 雨森 理亮
10 内藤 洋平(→14 村上 巧)
13 藤田 浩平
25 岡本 知也(→27 宮本 徹)
11 坂本 一輝
26 淵本 翔太(→18 伊藤 了)

◆得点(アシスト)◆

立命大 2分 11 坂本 一輝 (26 淵本 翔太)

立命大 77分 18 伊藤 了 (5 前野 貴徳)

阪南大学 VS 同志社大学

阪南大 0-0 同大

■11月28日(日) 14:00 KICK OFF

@大阪長居第2陸上競技場

◇出場選手◇

阪南大

21 原田 直樹
5 岩本 知幸
26 二見 宏志
19 飯尾 竜太郎
3 朴 帝宣
40 今村 虹陽
15 窪田 良(→42 廣瀬 龍)
7 神門 拓弥(→9 中村 雄大)
14 井上 翔太
16 阿部 勇治(→18 村山 拓哉)
10 棚橋 雄介

同大

1 堀之内 義博
2 林 佳祐
3 安川 有
4 川野 晃生
20 三浦 修(→12 小堀 誠也)
8 荒堀 謙次
6 早坂 賢太
10 徳丸 敬紘(→15 中祖 昂)
7 東矢 尚仁
13 松田 純也(→11 市川 俊治朗)
16 辻 智人

◆得点(アシスト)◆

第1試合の立命館大の勝利でインカレ出場校が決まってしまう“消化試合”的なゲームが予想されたが、なかなかどうして内容の濃いゲームになった。両チームとも選手のモチベーションが高く、それだけに白星への意欲も満々でスピードに乗った激しい攻防で、リーグ最終戦にふさわしいものとなった。特に同大の勝利への意欲が素晴らしく、持ち前のスピードサッカーを展開した。両サイドバックの攻撃参加、8荒堀謙次、7東矢尚仁の中盤、FWの鋭い突破力にさすがに1部リーグ随一の阪南大DF網を打ち破れなかったが、常にこの日のような攻撃を発揮できておれば、の感を抱かせた。付け加えるならシュートチャンスをもっと生かせれば。チャンスでのシュートの逡巡、不用意なパスが目立つ。

鉄壁のDFラインを基盤とする阪南大の攻撃は、やはりキーマン6井手口正昭の欠場(出場停止)が痛かった。井手口の所で攻めの起点が出来、あるいは強弱のリズムが生み出されるのだが、それが出来なかったために同大のテンポに合ってしまった。スピードでは同大に後れを取る。イエローが多かったのもその証左だろう。しかしいいゲームだった。

(文：関西学連)